指導目標 解を深める 図る実践的 1. 課題の 2. 農業経 3. 研究が ・統計学の データを分 ・機業経営 ビジネスラ ・研究成界 学校農業ク	はる。また、企画力や管理 対な能力と態度を育てる。 研究のための統計学の基礎を 経営の基礎知識 、集のまとめと発表 の基礎知識 が析するための統計学の考え なの管理と展開 で一タを活用しながら、商品 のまとめと発表 プラブ活動を通して、学習成 事項		する問題の課題解決を 処理に活用させる。		
指 導 目 標 解を深めさる 図 1. 課題の 1. 課題の 2. 農業紀式 2. 農研計学の 2. 農業紀式 4 ~ 6 月	はる。また、企画力や管理 対な能力と態度を育てる。 研究のための統計学の基礎を 経営の基礎知識 、集のまとめと発表 の基礎知識 が析するための統計学の考え なの管理と展開 で一タを活用しながら、商品 のまとめと発表 プラブ活動を通して、学習成 事項	理能力などを身に付けさせ、農業に関い 知識 え方と手法を学び、その知識をデータ	する問題の課題解決を 処理に活用させる。		
学期 指導 平均と平均 1 学期 4 ~ 6 月 信頼区間 指	事 項	北里を発売させ 理解を深めさせる			
1 学 期 4 ~ 6 月 信頼区間 分散分析	+011.44 = 1.64 = 1.64	指導內容	予定時間		
指 相関と単向	表計算を用い 度数分布を調 正規分布と分 表計算を用い 母集団の平均 表計算を用い	問べる・ばらつきを数値化する 分散・標準偏差 いた演習 り・分散と標本の平均・分散・信頼区間	20		
2 学期 計 7~11月 画 農業経営の	表計算を用い 帯 散布図のパタ 表計算を用い 偏相関係数と 表計算を用い 交互作用と多 売上データと	表計算を用いた演習 散布図のパターンと相関・相関係数 表計算を用いた演習 偏相関係数と偏回帰係数、重回帰モデルと重相関係数 表計算を用いた演習 交互作用と多重比較 売上データとグラフ (パレート図・ヒストグラム)			
3 学期 3 学期 研究成果ま 研究成果ま 研究成果ま 研究成果ま 教科書・副教材他 自主教材	管理と展開 経営診断の方 経営診断にお を探る。地域	原価と原価計算について、問題演習を行いながら理解を深める。 経営診断の方法(損益分岐点・線形計画法) 経営診断において、資料の見方を理解させ、経営における問題点 を探る。地域経営の実例について考えさせる。 これまで学習してきた統計学の基礎、情報活用のスキルをもとに 課題研究データを用いてデータ処理・解析を行う。 プレゼンテーションによる発表練習 プレゼンテーションによる発表			

評価規準							
評価項目・対象	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解	評価比重		
講義	0	0					
演習	0	0	0				
成果発表		0	0	0			
評価の観点	統計学の基礎について理解することができたか。 問題演習や課題作成に意欲的に取り組み、成果を残すことができたか。 自ら鍛え、知識やスキルの向上を目指そうとする積極性を重視する。						